

いますぐ動こう、気温上昇を止めるために。

1.5℃の約束



日刊工業新聞社は「SDGメディア・コンパクト」加盟メディアとして、
気候アクションを推進する国連のACT NOWキャンペーンを支援しています。

日刊工業新聞社



エアロラップ☆☆
自動化進んでます!

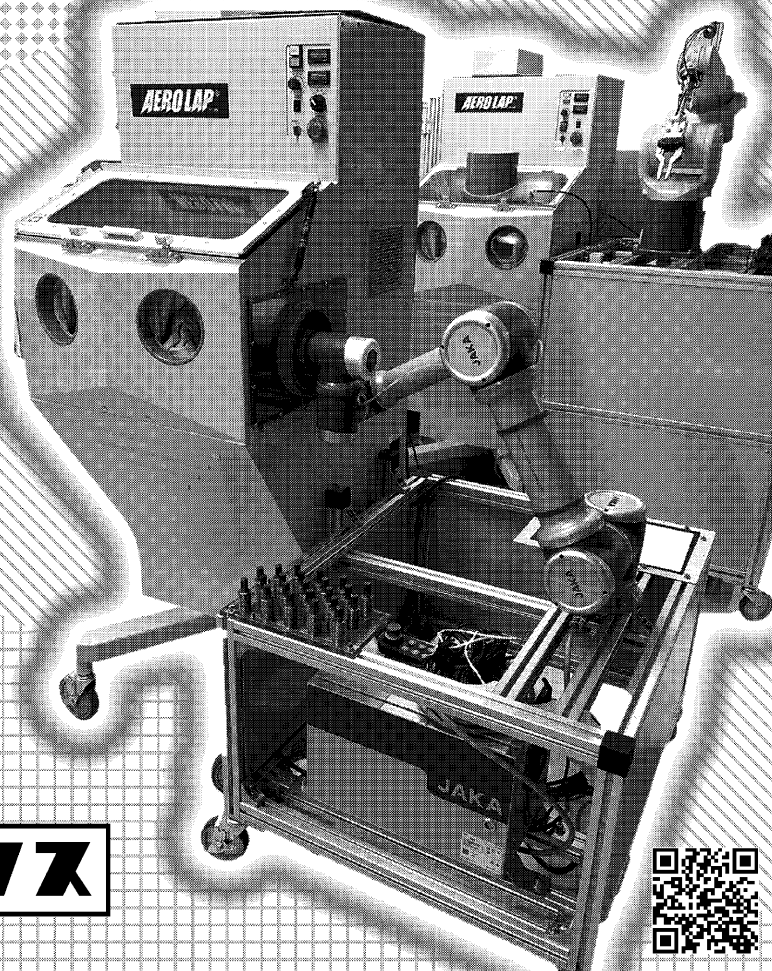


AEROLAP®

40th Anniversary
—since 1986—

株式会社 ヤマシタワークス

<https://www.yamashitaworks.co.jp/>



バリ取り・エッジ仕上げ

ロボット活用事例

・TAF LINKの取り組み
浜松に拠点を置く東洋鐵工所（T）、アラキエンジニアリング（A）、藤本工業（F）の3社で構成される「TAF LINK」は、バリ取り・エッジ仕上げ工程の自動化に挑戦しており、昨年の国際ロボット展に出品した。写真1（右面）に掲載のような協働ロボットを使った研磨システムで、ベルトサンダーにワークを自動で押し当て、人とロボットが協働してバリ取りや表面仕上げを行うシステムを提案する。

同展では、システムインテグレーター（Sier）不足に対応する取り組みが目玉された。

ルモーターユニット「BA RRIQUAN」を組み込んだロボットシステムを提案する。同システムでは、



【写真2】ロボットバリ取り自動化セル「RDM-S」（スギノマシン）

回転工具を一定圧力でワーク形状に沿わせることで、要求されるエッジ品質に仕上げることを実現した。伸縮型と傾斜型の2種類のスピンドルを搭載して、汎用性の高いスピーディーなバリ取り・エッジ仕上げを行っている。写真2のようにわずかな作業量で1人分の作業スペースで自動化を実現していることも大きな特徴である。

研磨一人&ロボット協働

DSC協会2025年度（1～12月）開催の事業

- 3月 「Grinding Technology Japan 2025」 出展（千葉）
- 3月 2025年度通常総会、特別講演会および懇親会（東京）
- 5月 DSC協会展示会「第3回最上級仕上げ加工技術展」（東京）
- 7月 ものづくりワールド東京「工場設備・備品展」 出展（東京）
- 8月 企業および大学訪問・宿泊研究見学会（富山）
- 9月 砥粒加工学会「ABTEC2025」パネル展示（大阪）
- 9月 DSC協会展示会「第1回仕上げ加工技術展in浜松」（静岡）
- 10月 ものづくりワールド大阪「工場設備・備品展」 出展（大阪）
- 10月 「燕三条ものづくりメッセ2025」 出展（新潟）
- 10月 「おおた研究・開発フェア」 出展（東京）
- 12月 長野県さかきテクノセンター・セミナー・展示会・相談会開催（長野）

全国で展示会開催

DSC協会

DSC協会は2023年に発足し、3年が経過した。25年度（1～12月）に実施した事業を表に示す。昨年度は例年通りの活動を実施したが、当協会の最大の目標は全国各地域での展示会の開催である。

9月に初めて浜松で浜松商工会議所の後援を得て、2日間にわたり展示会を開催した。会員企業はもちろん、県内外の企業を合わせた18社が出展し、200人を超える来場者を得た充実した展示会となった（写真3）。

これに続き、12月に長野県工業技術総合センターの協力のもと、24年の飯田市に続き、信州モノづくりの町の一つである坂城町のさかきテクノセンターにおいて、9社が出展する形で開催した。極寒にもかかわらず多数の参加者があった。

今後も機械加工工程の最終工程であるバリ取り・表面仕上げ・洗浄工程の省力化を目指す生産現場に対して役立つ協会を目指したいと考えている。読者諸氏の当協会へのご加入をお待ちしている。



【写真3】第1回仕上げ加工技術展（浜松）